

掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/keijiban.html をご参照下さい。

なお、内容などが変更となる場合がございますので、最新の情報は掲載元の HP などをご確認ください。

科学教育振興助成

公益財団法人中谷財団では、子どもたちの論理的思考力や創造性の成長を促すため、小学校、中学校、高等学校等における科学教育振興を目的とした取り組みに対して助成しています。2027 年度の助成も以下のとおり募集いたします。募集期間：2026 年 10 月 1 日(木)～11 月 30 日(月)(期日厳守)。応募資格：全国の小学校・中学校・高等学校等の教育機関。助成金額：〔個別校助成〕最大 30 万円/年×1 年間。〔複数校連携助成〕最大 100 万円/年×2 年間(最大計 200 万円)。〔教員支援助成〕最大 50 万円/年×3 年間(最大計 150 万円)。詳細および応募方法は中谷財団 HP (https://www.nakatani-foundation.jp/business/grant_science_edu/) よりご確認ください。

第 33 回 うま味研究助成募集のご案内

うま味研究会では、基本味である「うま味」に関する科学的な研究を支援するため、第 33 回 うま味研究助成の公募を行います。特に若手研究者の応募を歓迎します。研究分野：うま味に関する(1)基礎研究、(2)生体機能に関する研究、(3)食品科学・食品工学に関する研究。助成内容：2027 年 1 月 1 日(金)～2 年間、5 件程度、1 件当たり 100 万円程度。応募資格：日本国内の大学・大学院大学またはこれに準ずる研究機関に所属する研究者。学部生・大学院生も応募可(指導教員との事前相談が必要)。※うま味研究の経験は問いません。締切：2026 年 10 月 31 日(土)必着。詳細・申込：<https://www.srut.org/subsidize/saboutline/> 問合せ先：うま味研究会事務局 E-mail: umami@srut.org

次世代理系人材育成プログラム助成

公益財団法人中谷財団では将来科学技術分野で活躍する人材を育てることを目的に、優れた資質を持つ中学生を発掘して伸ばすプログラムに対して助成しています。2027 年度の助成も以下のとおり募集いたします。募集期間：2026 年 10 月 1 日(木)～11 月 20 日(金)(期日厳守)。応募資格：全国の国公立大学・高等専門学校○助成金額：最大 500 万円/年×最長 5 年間(最大計 2,500 万円)。詳細および応募方法は中谷財団 HP (https://www.nakatani-foundation.jp/business/grant_science_edu/next_generation_science/) よりご確認ください。

公益財団法人同仁化学学術振興財団助成金募集

科学技術の発展と社会経済の発展に貢献するために、公益財団法人同仁化学学術振興財団では、科学技術分野で活躍する若手研究者に対する研究開発を支援いたします。皆様からのご応募心よりお待ちしております。助成の対象領域：ライフサイエンス分野での基礎科学研究またはライフサイエンスを指向した有機化学研究を対象とし、その研究が独創的・先駆的であり、成果が科学技術の振興に貢献することが期待される内容。応募資格：日本の大学・研究機関に勤務し、主体的に研究を進めている研究者で、2027 年 4 月 1 日時点で 40 歳未満の研究者(1987 年 4 月 2 日以降に生まれた方、国籍は問わない)。ただし、ライフイベント(出産・育児・介護)により研究活動に一定期間の中断があった場合には、最大 3 年間の年齢加算を認め、43 歳未満の方まで応募可能といたします。申請の際、指定箇所に理由

を記載して下さい。助成額：1 件 100 万円。採択件数：8 件程度。応募期間：2026 年 9 月 1 日(火)～10 月 31 日(土)(期限厳守)。助成対象期間：2027 年 4 月 1 日(木)～2028 年 3 月 31 日(金)。問合せ先：募集要項の詳細や申請は当財団 HP (<https://dojindo-f.or.jp/>) よりお問い合わせ下さい。

公益財団法人長瀬科学技術振興財団 2027 年度研究助成募集要綱

長瀬科学技術振興財団では 2027 年度研究助成の募集をしています。詳細は下記 HP をご参照下さい。助成対象：有機化学および生化学、ならびに関連分野において申請者が主体的に進める研究。助成額：1 件 300 万円 25 件程度。応募方法：助成申請システム「Graain」より、申請者の ID アカウントの作成をしてご応募下さい。詳細につきましては、当財団 HP の「応募申請」をご参照下さい。募集期間：2026 年 9 月 1 日(火)～2026 年 11 月 1 日(日)(期限厳守)。連絡先：550-8668 大阪市西区新町 1-1-17 公益財団法人長瀬科学技術振興財団 電話(06) 6535-2117 <https://www.nagase-f.or.jp/>

2027 年度ガラス基礎研究振興プログラム(研究助成)募集

ガラス産業連合会と(一社)ニューガラスフォーラムでは、様々な研究分野で活躍する若手研究者へ、自由な発想に基づいて提案されるチャレンジングなガラス基礎研究に助成します。応募資格：主たる研究者は日本の大学、その附置研究所、高等専門学校等の教育機関または公的研究機関に所属する 45 歳以下(1982 年 4 月 2 日以降生まれであること)の職員。助成金：一件当たり 300～900 万円(3 年間分一括供与)。応募締切：2026 年 12 月 11 日(金)。申込等の詳細：<https://www.newglass.jp/kenkyu/2027/>

2027 年度前期高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所放射光共同利用実験課題公募

高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所では放射光および低速陽電子を利用する学術研究のための共同利用実験課題を公募します。応募方法：実験課題申請システム(<https://pmsweb.kek.jp/k-pas/>)を利用した電子申請となります。募集

期間：2026 年 10 月 1 日(木)9 時～11 月 5 日(木)13 時。詳細については HP (<https://www2.kek.jp/imss/pf/use/proposal/index.html>) をご参照下さい。問合せ先：高エネルギー加速器研究機構研究協力部共同利用支援課共同利用係 電話(029)864-5126 E-mail: kyodo1@mail.kek.jp

2027 年度前期高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所マルチプローブ共同利用実験課題公募

高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所では放射光実験施設、低速陽電子実験施設、中性子科学実験装置およびミュオン科学実験装置の 4 つのプローブのうち複数を利用する学術研究のための共同利用実験課題を公募します。募集期間：2026 年 10 月 1 日(木)～11 月 5 日(木)。詳細については HP (<https://www2.kek.jp/uskek/apply/multiprobe.html>) をご参照下さい。問合せ先：高エネルギー加速器研究機構研究協力部共同利用支援課共同利用係 電話(029)864-5126 E-mail: kyodo1@mail.kek.jp

大学女性協会守田科学研究奨励賞候補者募集

応募締切：2026 年 11 月 16 日(月)〔必着〕。応募資格：自然科学分野において、優れた研究成果をあげており、科学の発展に貢献することが期待される 40 歳未満(2027 年 4 月 1 日現在)の女性科学者を対象とします*。※出産・育児・介護等による休業期間等がある場合はこの期間を年齢から除外します。件数および金額：年 2 件以内。賞状および副賞 50 万円を贈呈します。応募方法：応募書類は E-mail 添付で提出していただきます。詳細は HP (<https://www.jauw.org/scholarship-information/moritakagaku/>) 参照。問合せ先：大学女性協会 E-mail: morita_prize@jauw.org

“掲示板”欄への掲載申込について

①掲載対象

- ①“掲示板”欄への掲載申込みは、本会会員を対象とした化学に関連する内容に限りま。
- ②掲載する内容は、研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、求文献、不用品の贈呈・交換などです。
- ③同一原稿の掲載は1回に限りま。
- ④講演会などの行事の開催案内は掲載できません。本会の共催・協賛・後援を得て、“講演会・講習会”欄にご投稿下さい。

②字数制限と掲載例

- ①原稿は600字以内で作成して下さい（英文は和文の0.55字で換算）。この文字数を超える原稿は、内容を省略し、題名、申込先のみを掲載します。
- ②掲載例として本会ホームページに最新号のPDF版を公開しております。
<https://www.chemistry.or.jp/journal/chemical-industry>より「化学と工業」の関連リンク「最新の掲示板」をご覧ください。

③原稿締切日と掲載月

- ①原稿締切日は、毎月25日です。前月26日から当月25日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ②通知された掲載月以外に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

④原稿作成と投稿方法

- ①原稿は専用投稿フォーマットを使用して下さい。

②専用フォーマット使用方法

- A) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
- B) 機種に依存する文字の注意；機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

【使用できない文字例】

- ・半角カナ；ｱｶﾀ, 記号（約物）；.,。[(./ 等
- ・ローマ数字；ⅠⅡⅢⅣ, 丸数字；①②③④

- C) テキスト上で表現できない文字（外字、作字）については使用を避け

て下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で代用し、投稿フォーマットの“連絡事項”に●印の指示を記入して下さい。

- D) 文書中で書式指定（上付き、下付き、イタリック体）を希望の場合は、タグ付け（HTML形式）をして下さい。

【見本】・上付； $P^{2+} \rightarrow P ^{2 +}$
 ・下付； $CO_2 \rightarrow CO ₂$
 ・イタリック；*italic* → $<I> italic </I>$

- ③原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックし、送信内容をご確認下さい。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はできませんのでご注意下さい。

- ④投稿が完了しましたら、受理通知メールが発信人宛に返信されます。受理通知メールにて、受付番号、掲載予定号、投稿内容が確認できます。受理通知メールが届かない場合は、正常に原稿が受理されていないおそれがありますので、必ず受理通知メールをご確認下さい。
- ⑤投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

⑤送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ①原稿締切日（当月25日）まで；投稿フォーマットの“連絡事項”欄に先に投稿した際の受理通知メールに記載の受付番号、受理通知メール受信日と原稿差替えの旨を記入し再投稿して下さい。その際、E-mailにて三美印刷宛その旨をご通知下さい。
- ②原稿締切日以降は原則として訂正はできません。

⑥問合先

【投稿に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局
E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部
電話 (03) 6807-8212 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp